

ダイワ日本リート・ファンド ダイワ日本リート・ファンド・ マネー・ポートフォリオ

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	ダイワ日本リート・ ファンド	追加型投信／国内／不動産投 信（リート）
信託期間	約10年間（2012年6月29日～2022年6月22日）	
運用方針	ダイワ日本リート・ ファンド・マネー・ ポートフォリオ	信託財産の成長をめざして運用 を行ないます。 主としてわが国の公社債への投 資により、利息収入の確保をめ ざして運用を行ないます。
主要投資 対象	ダイワ日本リート・ ファンド ダイワ日本リート・ ファンド・マネー・ ポートフォリオ	わが国の金融商品取引所上場 （上場予定を含みます。）の不動 産投資信託の受益証券および不 動産投資法人の投資証券 イ．ダイワ・マネー・マザー ファンド（以下「マザーファ ンド」といいます。）の受益証券 □．本邦通貨表示の公社債
組入制限	ダイワ日本リート・ ファンド ダイワ日本リート・ ファンド・マネー・ ポートフォリオ	株式組入上限比率は純資産総額 の10%以下 ・マザーファンドの組入上限比 率は無制限 ・株式組入上限比率は純資産総 額の30%以下
分配方針	ダイワ日本リート・ ファンド ダイワ日本リート・ ファンド・マネー・ ポートフォリオ	分配対象額は、経費控除後の配 当等収益と売買益（評価益を含 みます。）等とし、原則として、 基準価額の水準等を勘案して分 配金額を決定します。基準価額 の水準によっては、ポートフォ リオの流動性等を考慮し、分配 金額を決定する場合があります。 ただし、分配対象額が少額 の場合には、分配を行なわない ことがあります。 分配対象額は、経費控除後の配 当等収益と売買益（評価益を含 みます。）等とし、原則として、基 準価額の水準等を勘案して分配 金額を決定します。ただし、分 配対象額が少額の場合には、分 配を行なわないことがあります。

運用報告書（全体版）

第8期

（決算日 2020年6月22日）

（作成対象期間 2019年6月25日～2020年6月22日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申
上げます。

当ファンドは、（ダイワ日本リート）わが
国のリート（不動産投資信託）に投資し、信
託財産の成長をめざすこと、（マネー・ポ
ートフォリオ）わが国の公社債に投資し、利息
収入の確保をめざすことを目的としておりま
す。当作成期につきましてもそれに沿った運
用を行ないました。ここに、運用状況をご報
告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、
お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<4829>
<4830>

ダイワ日本リート・ファンド

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			東証REIT指数 (配当込み)		投資信託 証券 組入比率	不動産 投信指数 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
4期末(2016年6月22日)	16,330	200	2.4	3,300.00	3.3	95.3	2.6	5,659
5期末(2017年6月22日)	15,473	400	△ 2.8	3,234.16	△ 2.0	98.8	1.1	4,672
6期末(2018年6月22日)	15,797	500	5.3	3,433.40	6.2	98.5	1.4	3,399
7期末(2019年6月24日)	17,346	600	13.6	3,935.17	14.6	98.4	1.5	2,891
8期末(2020年6月22日)	15,069	450	△ 10.5	3,554.34	△ 9.7	97.7	2.3	2,200

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

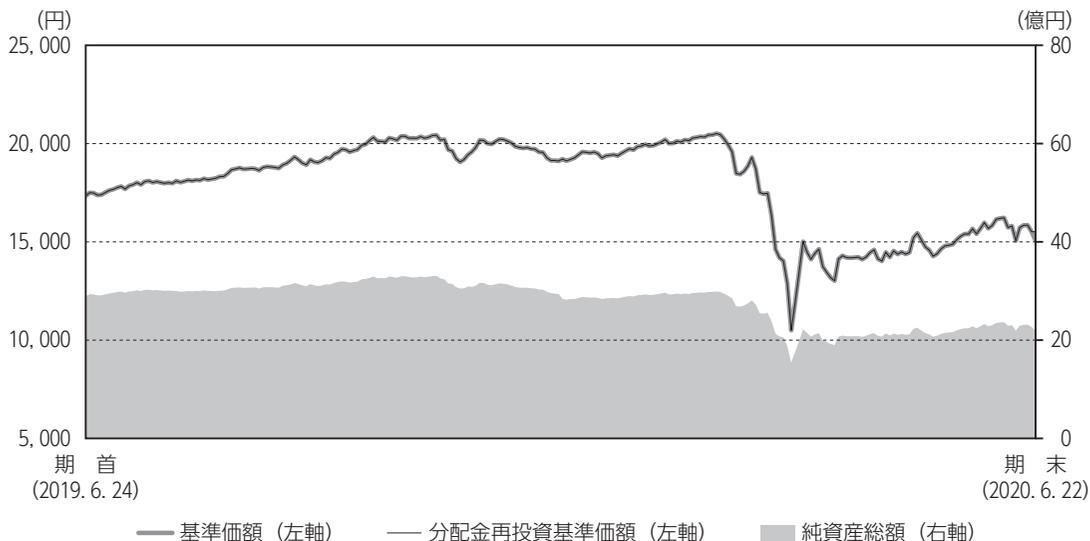
(注2) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注3) 不動産投信指数先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：17,346円

期末：15,069円（分配金450円）

騰落率：△10.5%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

わが国のリート（不動産投資信託）市場全体の中長期的な動きを捉える投資成果をめざして運用を行った結果、国内リート市況が下落したことを反映して、基準価額も下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ日本リート・ファンド

年 月 日	基 準 価 額		東証REIT指数 (配当込み)		投資信託 証 券 組入比率	不 動 産 投信指数 先物比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首)2019年6月24日	17,346	—	3,935.17	—	98.4	1.5
6月末	17,398	0.3	3,947.76	0.3	98.5	1.5
7月末	18,144	4.6	4,120.33	4.7	98.5	1.5
8月末	18,815	8.5	4,275.94	8.7	98.4	1.5
9月末	19,689	13.5	4,477.77	13.8	98.5	1.5
10月末	20,325	17.2	4,625.77	17.5	98.4	1.5
11月末	20,128	16.0	4,584.30	16.5	98.0	1.6
12月末	19,526	12.6	4,450.34	13.1	98.4	1.6
2020年1月末	20,206	16.5	4,608.85	17.1	98.3	1.6
2月末	18,481	6.5	4,218.40	7.2	98.3	1.6
3月末	14,634	△ 15.6	3,343.59	△ 15.0	97.6	2.2
4月末	14,487	△ 16.5	3,313.25	△ 15.8	97.7	2.2
5月末	15,669	△ 9.7	3,586.37	△ 8.9	97.7	2.2
(期末)2020年6月22日	15,519	△ 10.5	3,554.34	△ 9.7	97.7	2.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 6. 25 ~ 2020. 6. 22)

国内リート市況

国内リート市況は下落しました。

国内リート市況は、当作成期首より、米国の金融政策姿勢が緩和的になったことなどにより日米長期金利が低下したことやリート各社の好調な決算などを背景に上昇し、その後も堅調に推移しました。2020年2月には、新型コロナウイルスの感染拡大により市場がリスク回避に転じ、再び世界的に長期金利が低下したことで国内リート市場はさらに上昇しました。しかし2月下旬に入り、世界景気の減速懸念により投資家のリスク回避姿勢がさらに強まると、大幅に下落しました。その後は、各国の金融・財政政策の発表などを背景に反発し、5月中旬以降は、新型コロナウイルスの新規国内感染者数の減少や緊急事態宣言の全面解除が見込まれる中で、経済活動正常化への期待もあり、当作成期末にかけて上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドの運用方針に基づき、わが国のリート市場全体の中長期的な動きを捉える投資成果をめざして運用を行ってまいります。

ポートフォリオについて

(2019. 6. 25 ~ 2020. 6. 22)

わが国のリート市場全体の中長期的な動きを捉える投資成果をめざして、各銘柄の時価総額構成比に基づきポートフォリオを構築しました。

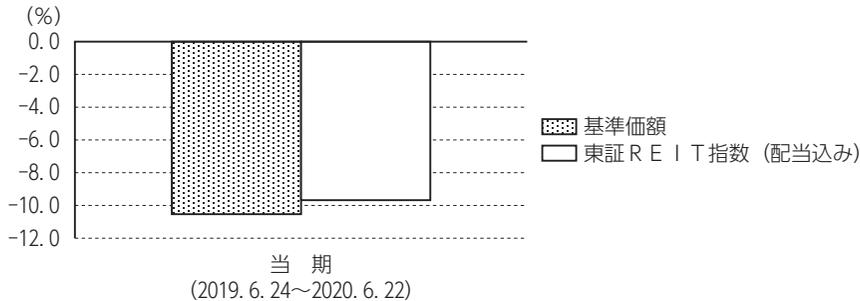
リートの実質組入比率（不動産投信指数先物を含む。）は、当作成期を通じて95%以上を維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（東証REIT指数（配当込み））との騰落率の対比です。

参考指数の騰落率は△9.7%となった一方で、当ファンドの基準価額の騰落率は△10.5%となりました。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項目	当期	
	2019年6月25日 ～2020年6月22日	
当期分配金（税込み） (円)		450
対基準価額比率 (%)		2.90
当期の収益 (円)		450
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		5,068

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	484.29円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		3,529.13
(d) 分配準備積立金		1,505.48
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		5,518.91
(f) 分配金		450.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		5,068.91

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンドの運用方針に基づき、わが国のリート市場全体の中長期的な動きを捉える投資成果をめざして運用を行ってまいります。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 6. 25～2020. 6. 22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	154円	0.860%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は17,953円です。
(投 信 会 社)	(68)	(0.381)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(78)	(0.435)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(8)	(0.044)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0.004	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	
(投資信託証券)	(1)	(0.003)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.005	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	156	0.869	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

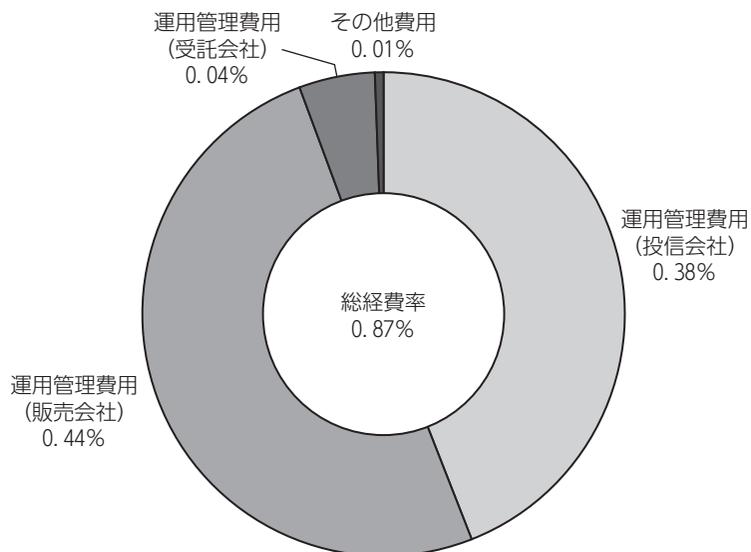
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.87%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託証券

(2019年6月25日から2020年6月22日まで)

	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
国内	2,2906	343,382	(4,1756)	(741,201)

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2019年6月25日から2020年6月22日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
	百万円	百万円	百万円	百万円
国内 不動産投信指数 先物取引	264	254	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託証券

(2019年6月25日から2020年6月22日まで)

当 期				期 付			
買		付		売		付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
インヴィンシブル投資法人	0.37	20,807	56,237	日本ビルファンド	0.072	55,193	766,571
日本ビルファンド	0.027	19,825	734,294	ジャパンリアルエステイト	0.073	50,022	685,235
野村不動産マスターF	0.112	17,951	160,283	野村不動産マスターF	0.228	39,062	171,326
ジャパンリアルエステイト	0.027	17,749	657,378	ユナイテッド・アーバン投資法人	0.164	29,221	178,180
大和ハウスリート投資法人	0.055	14,852	270,053	オリックス不動産投資	0.142	29,168	205,413
日本プロロジスリート	0.05	14,427	288,548	日本プロロジスリート	0.1	28,480	284,803
アドバンス・レジデンス	0.029	9,420	324,833	日本リテールファンド	0.136	27,843	204,735
ユナイテッド・アーバン投資法人	0.06	9,246	154,102	大和ハウスリート投資法人	0.097	27,172	280,127
オリックス不動産投資	0.05	9,081	181,632	アドバンス・レジデンス	0.081	27,111	334,711
三菱地所物流REIT	0.026	8,697	334,537	G L P投資法人	0.178	23,959	134,602

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当作成期中の利害関係人との取引状況

(2019年6月25日から2020年6月22日まで)

決 算 期	当 期			期 付		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
投資信託証券	343	38	11.2	741	169	22.9
不動産投信 指数先物取引	264	—	—	254	—	—
コール・ローン	9,186	—	—	—	—	—

(2) 利害関係人の発行する有価証券等

(2019年6月25日から2020年6月22日まで)

種 類	当 期		期末保有額
	買 付 額	売 付 額	
	百万円	百万円	百万円
投資信託証券	7	18	69

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) 単位未満は切捨て。

(3) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

(2019年6月25日から2020年6月22日まで)

種 類	当 期
	買 付 額
投資信託証券	百万円 10

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

(4) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

(2019年6月25日から2020年6月22日まで)

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	114千円
うち利害関係人への支払額 (B)	6千円
(B) / (A)	6.0%

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券、大和証券オフィス投資法人、サムティ・レジデンシャル投資法人、大和証券リビング投資法人です。

■組入資産明細表

(1) 国内投資信託証券

銘 柄	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
エスコンジャパンリート	0.03	0.03	3,270
サンケイリアルエステート	0.029	0.036	3,502
SOSILA 物流リート投	—	0.055	7,166
日本アコモデーションファンド投資法人	0.097	0.082	52,480
MCUB S M i d C i t y 投資法人	0.33	0.317	25,803
森ヒルズリート	0.336	0.284	40,186
産業ファンド	0.36	0.318	53,042
アドバンス・レジデンス	0.286	0.234	73,125
ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人	0.181	0.161	29,946
A P I 投資法人	0.154	0.124	47,740
G L P 投資法人	0.727	0.615	87,760
コンフォリア・レジデンシャル	0.122	0.107	34,935
日本プロロジスリート	0.421	0.371	113,711
星野リゾート・リート	0.045	0.038	18,278
O n e リート投資法人	0.043	0.038	9,800
イオンリート投資	0.301	0.266	31,281
ヒューリックリート投資法	0.237	0.21	27,951
日本リート投資法人	0.095	0.08	28,400
インベスコ・オフィス・Jリート	1.788	1.586	23,536
日本ヘルスケア投資法	0.013	—	—
積水ハウス・リート投資	0.858	0.722	51,695
トーセイ・リート投資法人	0.056	0.054	5,740
ケネディクス商業リート	0.107	0.095	19,570
ヘルスケア&メディカル投資	0.061	0.053	6,556
サムティ・レジデンシャル	0.059	0.049	5,198
野村不動産マスターF	0.913	0.797	105,522
いちごホテルリート投資	0.051	0.041	2,993
ラサールロジポート投資	0.242	0.229	37,372
スターアジア不動産投	0.091	0.082	7,781
マリモ地方創生リート	0.025	0.024	2,772

銘 柄	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
三井不ロジパーク	0.071	0.07	33,600
大江戸温泉リート	0.047	0.042	2,877
さくら総合リート	0.063	0.053	4,425
投資法人みらい	0.316	0.281	10,874
森トラスト・ホテルリート投	0.069	0.058	5,933
三菱地所物流 REIT	0.031	0.049	18,816
CRE ロジスティクスファンド	0.029	0.046	6,840
ザイマックス・リート	0.027	0.036	3,492
タカラレーベン不動産投	0.044	0.07	6,286
伊藤忠アドバンスロジ	0.045	0.051	6,721
日本ビルファンド	0.284	0.239	154,394
ジャパンリアルエステイト	0.293	0.247	137,579
日本リテールファンド	0.554	0.466	66,172
オリックス不動産投資	0.584	0.492	72,127
日本プライムリアルティ	0.186	0.162	53,460
プレミア投資法人	0.279	0.223	26,202
東急リアル・エステート	0.197	0.165	24,073
グローバル・ワン不動産投資法人	0.203	0.171	17,202
ユナイテッド・アーバン投資法人	0.658	0.554	65,593
森トラスト総合リート	0.21	0.176	23,496
インヴァンシブル投資法人	1.012	1.083	33,085
フロンティア不動産投資	0.1	0.088	31,680
平和不動産リート	0.183	0.154	16,170
日本ロジスティクスファンド投資法人	0.192	0.161	46,947
福岡リート投資法人	0.152	0.128	16,947
ケネディクス・オフィス投資法人	0.091	0.076	46,132
いちごオフィスリート投資法人	0.243	0.191	14,573
大和証券オフィス投資法人	0.068	0.057	34,086
阪急阪神リート投資法人	0.132	0.111	14,685
スターツプロシード投資法人	0.046	0.038	7,733
大和ハウスリート投資法人	0.394	0.352	91,590
ジャパン・ホテル・リート投資法人	0.944	0.795	38,637
大和証券リビング投資法人	0.33	0.302	30,200
ジャパンエクセレント投資法人	0.263	0.228	29,845
合 計	口 数、金 額	16.398	2,149,599
	銘 柄 数 < 比 率 >	63 銘柄	<97.7%>

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘 柄 別	当 期 末	
	買 建 額	売 建 額
	百万円	百万円
国内 東証REIT	49	—

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年6月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託証券	2,149,599 千円	94.3 %
コール・ローン等、その他	129,679	5.7
投資信託財産総額	2,279,278	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年6月22日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,316,314,608円
コール・ローン等	114,391,325
投資信託証券 (評価額)	2,149,599,490
未収入金	99,067
未収配当金	12,193,366
差入委託証拠金	40,031,360
(B) 負債	116,241,994
未払金	2,403,900
未払収益分配金	65,700,342
未払解約金	496,352
未払信託報酬	10,538,683
差入委託証拠金代用有価証券	37,036,000
その他未払費用	66,717
(C) 純資産総額 (A - B)	2,200,072,614
元本	1,460,007,606
次期繰越損益金	740,065,008
(D) 受益権総口数	1,460,007,606口
1万口当り基準価額 (C / D)	15,069円

* 期首における元本額は1,666,970,810円、当作成期間中における追加設定元本額は195,143,189円、同解約元本額は402,106,393円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,069円です。

■損益の状況

当期 自 2019年6月25日 至 2020年6月22日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	94,712,347円
受取配当金	94,688,581
受取利息	90
その他収益金	41,072
支払利息	△ 17,396
(B) 有価証券売買損益	315,023,777
売買益	162,650,115
売買損	△ 477,673,892
(C) 先物取引等損益	2,973,160
取引益	8,003,525
取引損	△ 10,976,685
(D) 信託報酬等	24,005,121
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	247,289,711
(F) 前期繰越損益金	219,801,499
(G) 追加信託差損益金	833,253,562
(配当等相当額)	(395,015,153)
(売買損益相当額)	(438,238,409)
(H) 合計 (E + F + G)	805,765,350
(I) 収益分配金	△ 65,700,342
次期繰越損益金 (H + I)	740,065,008
追加信託差損益金	833,253,562
(配当等相当額)	(395,015,153)
(売買損益相当額)	(438,238,409)
分配準備積立金	224,808,383
繰越損益金	△ 317,996,937

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	70,707,226円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	515,256,625
(d) 分配準備積立金	219,801,499
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	805,765,350
(f) 分配金	65,700,342
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	740,065,008
(h) 受益権総口数	1,460,007,606口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	450円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ

最近5期の運用実績

決算期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 配 分 金		期 中 騰 落 率		公 社 債 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		円	円	%	%		
4 期末 (2016年 6 月22日)	10,009	0	△ 0.0	0.3	229		
5 期末 (2017年 6 月22日)	10,003	0	△ 0.1	0.5	149		
6 期末 (2018年 6 月22日)	9,996	0	△ 0.1	—	87		
7 期末 (2019年 6 月24日)	9,988	0	△ 0.1	—	99		
8 期末 (2020年 6 月22日)	9,984	0	△ 0.0	—	86		

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

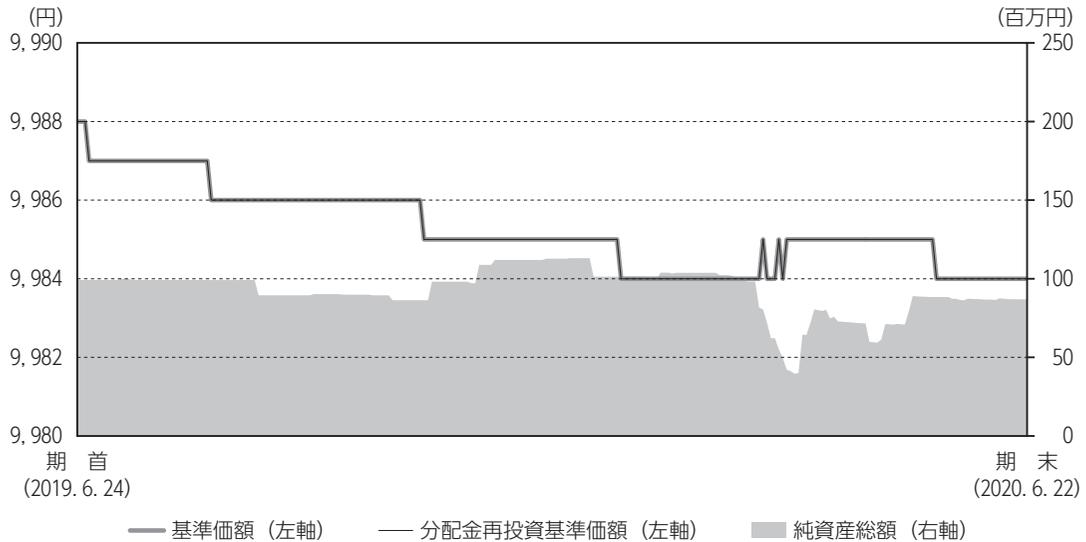
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、スイッチングにより一時滞留させる受け皿としての役割をもったファンドであり、わが国の現物公社債等を中心に、安定運用を行いません。そのため、ベンチマークおよび参考指数はありません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,988円

期末：9,984円（分配金0円）

騰落率：△0.0%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ・マネー・マザーファンド」の受益証券を通じて投資したコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ

年 月 日	基 準	価 額		公社債組入比率
		騰 落 率		
(期首)2019年6月24日	円	9,988	—	%
6月末		9,987	△ 0.0	—
7月末		9,987	△ 0.0	—
8月末		9,986	△ 0.0	—
9月末		9,986	△ 0.0	—
10月末		9,986	△ 0.0	—
11月末		9,985	△ 0.0	—
12月末		9,985	△ 0.0	—
2020年1月末		9,984	△ 0.0	—
2月末		9,984	△ 0.0	—
3月末		9,985	△ 0.0	—
4月末		9,985	△ 0.0	—
5月末		9,984	△ 0.0	—
(期末)2020年6月22日		9,984	△ 0.0	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 6. 25 ~ 2020. 6. 22)

国内短期金融市況

日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が維持される中、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

「ダイワ・マネー・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 6. 25 ~ 2020. 6. 22)

当ファンド

「ダイワ・マネー・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年6月25日 ～2020年6月22日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	10

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・マネー・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

上記の運用方針により、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資する場合があります。今後も現在の低金利環境が継続した場合は、ファンド全体の損益がマイナスとなり、基準価額が下落することが予想されます。投資家のみなさまにおかれましては、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 6. 25~2020. 6. 22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	—円	—%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,985円です。
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.001	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	0	0.001	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

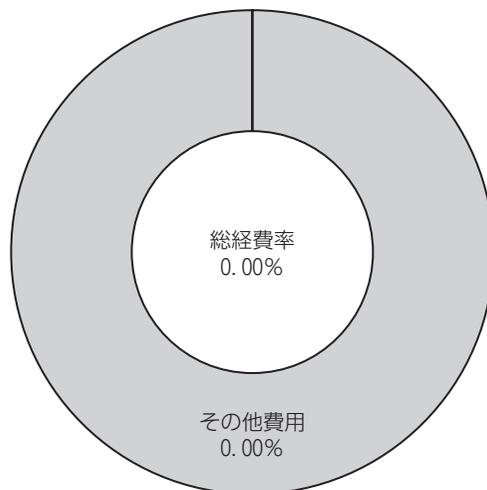
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.00%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年6月25日から2020年6月22日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	107,059	108,914	119,025	121,088

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	96,967	85,001	86,463

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年6月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・マネー・マザーファンド	86,463	99.4
コール・ローン等、その他	484	0.6
投資信託財産総額	86,947	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年6月22日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	86,947,659円
コール・ローン等	484,585
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	86,463,074
(B) 負債	70,069
未払解約金	69,888
その他未払費用	181
(C) 純資産総額 (A - B)	86,877,590
元本	87,018,692
次期繰越損益金	△ 141,102
(D) 受益権総口数	87,018,692口
1万口当り基準価額 (C / D)	9,984円

* 期首における元本額は99,294,086円、当作成期間中における追加設定元本額は113,899,971円、同解約元本額は126,175,365円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,984円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は141,102円です。

■損益の状況

当期 自 2019年6月25日 至 2020年6月22日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 294円
受取利息	375
支払利息	△ 669
(B) 有価証券売買損益	△ 15,686
売買益	15,907
売買損	△ 31,593
(C) 信託報酬等	△ 364
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 16,344
(E) 前期繰越損益金	△ 14,744
(F) 追加信託差損益金	△ 110,014
(配当等相当額)	(79,594)
(売買損益相当額)	(△ 189,608)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 141,102
次期繰越損益金 (G)	△ 141,102
追加信託差損益金	△ 110,014
(配当等相当額)	(79,594)
(売買損益相当額)	(△ 189,608)
分配準備積立金	9,314
繰越損益金	△ 40,402

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	8,780
(c) 収益調整金	79,594
(d) 分配準備積立金	534
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	88,908
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	88,908
(h) 受益権総口数	87,018,692口

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2020年6月22日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年6月25日～2020年6月22日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

下記は、2020年6月22日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（65,749,302千円）の内容です。

国内その他有価証券

	2020年6月22日現在	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,980	<1.5>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第15期（決算日 2019年12月9日）

（作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

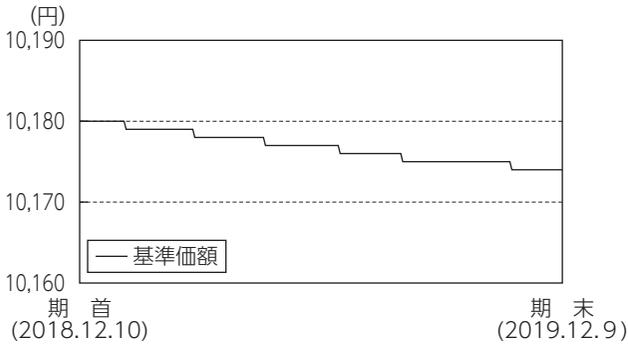
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	公 社 債 率	
		組 入 比	率
(期首)2018年12月10日	円 10,180	% -	% -
12月末	10,180	0.0	-
2019年1月1月末	10,179	△0.0	-
2月末	10,179	△0.0	-
3月末	10,178	△0.0	-
4月末	10,178	△0.0	-
5月末	10,177	△0.0	-
6月末	10,176	△0.0	-
7月末	10,176	△0.0	-
8月末	10,175	△0.0	-
9月末	10,175	△0.0	-
10月末	10,175	△0.0	-
11月末	10,174	△0.1	-
(期末)2019年12月9日	10,174	△0.1	-

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
- (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,180円 期末：10,174円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

- (注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
- (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	350,004	(350,000)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
- (注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
- (注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国内短期社債等	238,999,542	(238,999,547)

- (注1) 金額は受渡し代金。
- (注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
- (注3) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

■主要な売買銘柄 公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

当 期		期	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
801 国庫短期証券 2019/3/18	350,004		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表 国内その他有価証券

	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,997	<1.2>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	83,690,918	100.0
投資信託財産総額	83,690,918	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	83,690,918,350円
コール・ローン等	82,690,920,679
現先取引(その他有価証券)	999,997,671
(B) 負債	51,646
その他未払費用	51,646
(C) 純資産総額(A-B)	83,690,866,704
元本	82,259,129,638
次期繰越損益金	1,431,737,066
(D) 受益権総口数	82,259,129,638口
1万口当り基準価額(C/D)	10,174円

* 期首における元本額は78,610,288,449円、当作成期間中における追加設定元本額は112,484,550,034円、同解約元本額は108,835,708,845円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ日経225-シフト11- 2019-03 (適格機関投資家専用) 1,850,319,411円、ダイワ・グローバルIOT関連株ファンド -A I新時代- (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルIOT関連株ファンド -A I新時代- (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジあり) 9,608円、ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジなし) 9,608円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ/RICI® コモディティ・ファンド5,024,392円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>

米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) 180,729円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型) 737,649円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 95,276円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 337,885円、世界セレクトティブ株式オープン983円、DCダイワ・マネー・ポートフォリオ4,249,607,706円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト317,107,941円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ミドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド-パラダイムシフト-9,853,995円、低リスク型アロケーションファンドII (適格機関投資家専用) 4,212,646,194円、プルベア・マネー・ポートフォリオV 32,678,414,397円、プル3倍日本株ポートフォリオV 31,868,647,270円、ベア2倍日本株ポートフォリオV 6,946,381,074円、ダイワFEGグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用) 3,666円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ミドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド 164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ 109,485,524円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド-インフラ革命- (為替ヘッジあり) 5,385円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし) 11,530円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) ミドルコース9,817円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース6,964円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース9,479円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ980,367円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,174円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 42,819,286円
受取利息	111,756
支払利息	△ 42,931,042
(B) その他費用	△ 2,381,736
(C) 当期損益金(A+B)	△ 45,201,022
(D) 前期繰越損益金	1,418,229,476
(E) 解約差損益金	△ 1,927,237,136
(F) 追加信託差損益金	1,985,945,748
(G) 合計(C+D+E+F)	1,431,737,066
次期繰越損益金(G)	1,431,737,066

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。